

地域再生計画（ 交付金）事後評価調書

都道府県名	高知県	事業実施主体	高知県津野町	地域再生計画名	自然と共生する安心な町づくり計画
計画期間	平成25年度～平成30年度	評価責任者	高知県津野町建設課長 高橋 正光		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	間伐実施面積の増加	5.0%	H23	-	-	-	5.0%	H29	-76.0%	×	5	4	計画策定以前では切捨間伐の実績が多かったが、搬出間伐へ移行したため間伐実施面積の減少がみられ、本計画中においては目標の達成には至らなかった。
	指標 2	木材搬出量の増加	10.0%	H23	-	-	-	10.0%	H29	378.4%	○	5	4	林道整備に加えて、町内に貯木場が平成26年度に完成したことにより取扱量が増え、木材搬出量の増加につながった。
	指標 3	改良済延長の増加	1.0%	H23	-	-	-	1.0%	H30	30.0%	○	5	4	当事業以外にも社会資本整備総合交付金等を活用した結果、目標を大きく上回った。
	指標 4	入込客数の増加	10.0%	H23	-	-	-	10.0%	H30	64.4%	○	5	4	高知県全体でのRyomaの休日や奥四万十博といったイベント、町内においても吉村虎太郎邸が平成27年度に完成するなどして、道路整備と相乗できたことが目標達成に貢献した。
	指標 5	滞在者数の増加	10.0%	H23	-	-	-	10.0%	H30	14.2%	○	5	4	道路整備だけでなく、宿泊施設のホームページ創設やインターネットでの予約システムの導入、またSNSを用いた積極的な情報提供などが目標の達成につながった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価									
		計画	中間年度（H・R）	最終実績										
特別措置を適用して行う事業														
その他の事業	町道の整備	町道整備を図り、町内の生活道のネットワークの充実を図る。			社会資本整備総合交付金や町単工事で着実に生活道の整備ができてきている。しかしながら、依然として未着手箇所もあり、引き続き事業に取り組んでいきたい。									
	林道（林業専用道）の整備	林道の整備を図り、間伐をすることにより荒廃した森林を再生、公益的機能が十分に発揮できる森林の整備を図る。			民有林林道事業費を活用し、林道整備を行ってきたものの、間伐については十分な実績をあげることはできなかった。									
	観光の整備	津野町内へ加工所兼販売所である「満天の星」を建設。			平成23年に「満天の星」が設立し、津野町の観光拠点のメインの一つとなった。ここで製造している「満天の星大福」は高知市のアンテナショップ、空港、インターネットで販売しており、販路の充実が図れた。									
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	津野町地域再生計画評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	津野町のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用し、林業、生活道、観光の充実を目的としており、その中で指標1については達成できなかったものの、その他については目標を上回る結果となった。改良済延長の増加については当事業に加え、社会資本整備交付金や町単工事が目標達成に寄与した。また、観光面についてもソフト面からの積極的な活動が相乗効果を生み目標を上回ることができた。一方で、指標1である間伐面積の増加は間伐方法の転換の時期であったため計画策定時より下回ることとなった。しかしながら、木材の搬出量は大幅に増加しており、搬出間伐についても今後は増加傾向になると考えられる。													
⑦今後の方針等	林業は町内に豊富な資源がある中で、貯木場が町内にできたことにより今後は間伐と木材搬出は増加傾向にあると思われる。その中でさらなる林業の向上に向けて林道の整備を図っていくとともに、町内貯木場の利用を積極的に呼びかけをしていく。道路整備については着実に進んでいるものの、幅員が狭隘な箇所や通行に危険な路線もあり、引き続き安全な道づくりの充実に取り組んでいく。また、津野町の観光拠点のメインである「天狗荘」と「四万十源流センターせいらんの里」がリニューアルの予定であり、そのアクセスルートの機能向上を目指す。													